

1. 2020年度 事業報告

【1】広島港の利用促進に関する活動

① 国内外ポートセールス活動

- ・ 広島港振興協会主催の「広島港セミナー」が、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、Web形式で開催された。当会員も多数参加し、広島港のPRを行った。(開催日:2月2日, Webアクセス件数:約300件)
- ・ 本年度も東京会場での開催は見送った。

② 関係諸機関との連携強調

- ・ コロナ禍にあり、当会が主催するイベントは大半を中止した。このため、関係行政及び諸団体との連携を強調する機会は少なかった。しかしながら、関係諸機関 顧問交代の折には、当会の説明(活動状況等)を行い、継続した連携をお願いした。
- ・ 昨年度より開始した顧問講演会であったが、コロナ禍にあり講演会を中止した。

【2】研修会等の開催、参加

① 研修会/講演会への参加

- ・ 広島県ほか関係官庁、諸団体が開催する研修会,Web会議等へ積極的に参加した。

② 海外トップ研修会の企画開催

- ・ 研修候補地の新型コロナウイルス感染,対策状況等を旅行会社へ確認し、開催の検討を行ったが、候補地の感染拡大も著しく、中止已む無きと判断し、開催を見送った。

【3】港湾関係合同行事の開催

① 広島港合同賀詞交歓会の開催

- ・ 港湾3団体(広島みなと振興会,広島地区港運協会,広島税関連絡協議会)と広島港関係行政による賀詞交歓会は、コロナ禍にあり見送った。

② 三団体合同カープ観戦ツアーの開催

- ・ 広島県倉庫協会, 広島地区港運協会, 広島みなと振興会の3団体共催の野球観戦は、コロナ禍にあり見送った。

【4】広島港の振興及び啓蒙活動

① 「港湾研究会」の開催

- ・ 毎年、毎月第2水曜日(14時00～)開催を定例とし、検討案件を会員及び関係官庁、諸団体から幅広く募り、多岐にわたり検討を行っていたが、コロナ禍にあり今年度の開催は1回のみとなった。
- ・ ただし、研究会の報告案件を事前に関係者からヒアリングを行う「連絡会」は、少人数の会議であるため、コロナ感染状況を見ながら断続的に開催し、行政(広島県)からの情報展開要望案件は、E-mail等を利用して会員皆様へお伝えした。

② 「広島みなとフェスタ」への参画

- ・ 例年、広島港関係諸団体で構成される実行委員会として参画し、フェスタ初日に物流システム見学会(出島・海田コンテナターミナル内の施設見学)を開催していたが、今年度は広島みなと振興会事業者への新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、見学会開催を見送った。

③ 安全啓蒙・地域交流活動

- ・ 広島市立広島特別支援学校の教員と生徒,PTAとの安全啓蒙・地域交流会において、一昨年('19年)はトレーラー試乗会を開催し、昨年('20年)はコンテナターミナル内の見学会を計画していたが、コロナ禍にあり開催を見送った。

④ 広島みなと振興会ホームページ

- ・ ホームページを活用し、当会活動実績の情報公開を行った。

⑤ 広島港長期構想計画の実行

- ・ 2018年9月 広島県ホームページに公開された「広島港長期構想計画」に対し、広島県と適宜実行状況を確認し、当会の要望(出島埋立地区の早期使用可能な整備要請等)を示した。